

(別添様式1) ※A3判(1枚)に収める。「わがまちの道徳教育推進プラン」の内容と事業実施計画書及び報告書との整合性に留意して記載すること。

わがまちの道徳教育推進プラン		所管する小学校名	下山小学校・伊尾木小学校・川北小学校・土居小学校・井ノ口小学校・安芸第一小学校・穴内小学校・赤野小学校			校数	8校	計	10校	
安芸市教育委員会		所管する中学校名	清水ヶ丘中学校・安芸中学校			校数	2校			
道徳教育推進方針		学校・家庭・地域が一体となった道徳教育の推進 — 夢や目標をもち、地域をよりよくしようとする子どもの育成 —								
年度当初の拠点地域の状況		到達目標	中間検証 (下半期に向けての改善事項)	到達目標達成状況						
<p>◆道徳意識調査の結果より</p> <p>○肯定的回答が高い項目</p> <p>「①道徳の勉強は好きだ」(90.1%)「②道徳の授業では、自分の考えを伝えたり、他の人の考えを聞いたりしながら、自分のことについてよく考えている」(91.1%)と道徳の時間についての肯定的意見は高い。また、「⑦いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」(97.7%)や「⑧学校のきまりを守っている」(95.0%)の項目についても肯定的回答が高い。</p> <p>●肯定的回答が低い項目</p> <p>「③家の人と道徳の話をしたり、「家庭で取り組む「高知の道徳」を読んだりしている」の項目については、(58.9%)、「④自分にはよいところがある」(77.8%)、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」(83.8%)と他の項目から比べると肯定的回答が低くなっている。</p> <p>この結果から、自己肯定感や地域に貢献する児童生徒の育成、保護者、地域とともに進める道徳教育の取り組みが必要であると思われる。</p>		<p>◆道徳意識調査の肯定的回答の割合の向上</p> <p>①②「道徳の時間に対する意識」を3ポイント以上向上</p> <p>③「家の人と道徳の話をしたり、『家庭で取り組む 高知の道徳』を読んだりしている」を5ポイント以上向上</p> <p>④「自分には、よいところがあると思う」を5ポイント以上向上</p> <p>⑤「将来の夢や目標を持っている」を5ポイント以上向上</p> <p>⑥「人が困っているときは、進んで助ける」を、3ポイント以上向上</p> <p>⑦「いじめはどんな理由があっても、いけないことと思う」は、年度当初の数値を維持する</p> <p>⑧「学校のきまりを守っている」は、年度当初の数値を維持する</p> <p>⑨「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」を3ポイント以上向上</p> <p>⑩「自分の町・地域・高知県が好き」を3ポイント以上向上</p>		<p>道徳意識調査(中間検証)では「①②の道徳の学習に関すること」「③「高知の道徳」の活用」「④自分にはよいところがある」は年度当初よりも下回っていた。要因としては、各校で道徳の校内研修や研究授業を実施しているが「考え、議論する道徳の授業」を意識した授業実践が十分でなかった。③高知の道徳の活用については、各学校でPTA総会や参観日、通信、掲示など工夫した取組をしているが、家庭で取り組む機会の設定が弱かったことが要因であると考えられる。そこで、下記について取組の改善を図る。</p> <p>○道徳推進リーダーによる師範授業を公開し、「考え、議論する道徳」の授業についてモデルを示す。</p> <p>○道徳教育推進会議(公開授業研究会)で講師による講話や先進校視察の報告などを設定し、道徳科の趣旨を踏まえた授業や指導方法について共有し、「考え、議論する道徳」が実践されるように授業の工夫改善を図る。</p> <p>○高知の道徳の活用については、計画的に活用できるように道徳教育推進会議や中学校区で具体的な取組の協議や確認をしながら、効果的な活用方法について探るとともに、保護者や地域へ積極的に発信をしていく。</p>		<p>到達目標については10項目のうち⑦⑧の2項目のみの達成だった。目標数値までには至らなかったが、道徳意識調査のうち8項目については年度当初より肯定的回答が向上していた。特に年度当初に低かった④「自分には、よいところがあると思う」(+2.7)⑨「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」(+2.1)が向上していた。②「道徳の授業では自分の考えを伝えたり、他の人の考えを聞いたりしながら、自分のことについてよく考えている」の授業に関する項目も向上していた。これは講師を招聘しての推進会議で学んだことを、各校で道徳教育推進教師を中心に校内研修や研究授業を実施し、「考え、議論する道徳」の授業づくりに取り組んできたためと思われる。</p> <p>しかし、一方で①「道徳の勉強は好きだ」③「家の人と道徳の話をしたり、『家庭で取り組む高知の道徳』を読んだりしている」の項目が年度当初より下回った。「道徳の勉強は好きだ」については、主体的に自分との関りで考えたり、対話や議論などにより多面的・多角的に考えたりすることが授業の中で十分できていなかったためと思われる。また、家庭で取り組む「高知の道徳」の活用については、道徳教育推進会議で活用方法を協議し、各校がPTA総会や学級懇談、学校だより、道徳通信など家庭・地域へ情報発信をしたが十分な活用までに至らなかった。次年度は家庭と連携した「高知の道徳」の活用となるように、家庭や地域への周知方法や活用方法を工夫していく。</p>				
到達目標達成のための取組		取 組 計 画			指標達成状況の分析					
取組項目	取組の評価指標	5月～8月	中間評価	9月～2月(中間検証を踏まえての追記・変更可)	達成状況		年度末評価			
道徳教育の主体的な推進体制の整備	◆各小・中学校において、道徳教育推進のための校内体制ができている。	①道徳教育推進会議(2回)の実施 ・「高知の道徳」の活用を協議・活用推進 ・児童生徒意識調査結果の協議・取組策の検討	B	①道徳教育推進会議(3回)の実施 ・意識調査の検証を踏まえた取組改善策に基づく実践の報告・検証 ・公開授業研(小・中学校)の実施及び講師による講話 講師 高知大学 森 有希 准教授	道徳教育推進会議(年5回)では、道徳意識調査を踏まえて市として焦点化した取組や公開授業を通して「考え、議論する道徳」の授業づくりについて講師を招聘し、研修することができた。道徳教育推進教師が学んだことを各校で伝達し、取組に生かすことで校内体制や授業改善が進み、教員の道徳教育への意識が高まった。		A			
道徳科の趣旨を踏まえた指導方法及び評価の在り方に関する道徳の授業実践の研究	◆指導方法及び評価のあり方についての校内研修を実施する。 ◆公開授業研を通して指導方法及び評価について学ぶ。	①道徳授業づくり講座へ各校推進委員が参加し、道徳の授業の在り方を学ぶ。 ②講師招聘の講話を実施し指導方法及び評価について学び、各校で広める。 ・8月22日 講演会 講師 森 有希 准教授 ③講話の内容を配付資料を基に各校の教職員へ伝達する。	B	①公開授業研(小・中学校)に、各校推進委員が参加し、授業に対する協議を行う。講話を実施し、指導方法及び評価について各校で伝達する。 ・10月23日 公開授業(井ノ口小) ・11月12日 公開授業(安芸中) ③11/20 道徳推進リーダーによる師範授業の実施 ④11/14・15 全国小学校道徳教育研究大会(参加者5名) ⑤「研究所だより」等で講話について教職員へ配付する。	公開授業を通して「考え、議論する道徳」についての協議や講師による講話から指導方法や評価について学んだことを生かして、各校が道徳の校内研修、研究授業を年1回位置づけ実施した。また、県外研修で学んだことを基に道徳推進リーダーが示範授業を市内へ公開し、授業のモデルを示した。 授業づくりの参考になるように、公開授業の様子や講話内容を「研究所だより」で情報発信した。		A			
小小連携・小中連携による小・中学校の道徳教育の充実	◆中学校区での協議により、共通認識を図る。 ◆学校便り等で道徳に関する内容を掲載し、中学校区内に配付する。	①第2回推進会議の中で、中学校区で取組についてグループ協議を行う。 ・各校の取組についての情報交換 ・「高知の道徳」の活用についての共有・今後の取組について ③各校の学校便りや学級便り等で道徳に関する内容を掲載する。	B	①公開授業後の研修で、中学校区のグループで協議を行う ②「高知の道徳」の活用において協議し、中学校区全体で工夫した取組を紹介する。 ③各校の学校便りや学級便り等で道徳に関する内容を掲載する。	「高知の道徳」の活用について校区で取組の共有や効果的な活用方法について協議した。また、学校便りを家庭や校区の学校へ配付したことで、家庭への啓発とともに各学校が道徳に関する情報交換ができた。		B			
学校・家庭・地域の連携を図ったまちぐるみでの道徳教育の推進	◆安芸市教育の日で各学級が道徳の授業公開する。 ・「高知の道徳」についての啓発を行う。 ◆学校便り等で道徳に関する内容を掲載する。また、市の広報等に取組を掲載し、地域に広める。	①6/2 安芸市教育の日 道徳の授業公開の実施(10校) ・「高知の道徳」について保護者や地域へ普及・啓発 ②家庭・地域との連携の方策の具体策の協議 ・学校便り等で道徳に関する内容を掲載 ・「研究所だより」や市の広報等に取組を掲載	B	①参観日や学校だより等で、「高知の道徳」について紹介し、計画的に活用する。 ②家庭・地域との連携の方策の具体策の協議 ・学校便り等で道徳に関する内容を掲載 ・「研究所だより」や市の広報等に取組を掲載	市統一参観日(教育の日)に各学級が道徳の授業公開、PTA総会や学級懇談で「高知の道徳」についての紹介や校内への掲示など工夫した取組で家庭や地域へ周知することができた。 また、学校便りや学級便り、道徳通信など効果的に活用し、授業のことや道徳意識調査の結果、「高知の道徳」についての情報を発信することができた。		B			

※評価 A(十分できた) B(おおむねできた) C(あまりできていない) D(全くできていない)